

地域における公共交通ネットワークについて

地域における公共交通ネットワークについて、これまでの経緯及び検討状況等を以下のとおり報告する。

1 背景と目的

交通は、区民の自立した日常生活・社会生活の確保、活発な地域間交流や円滑な物流等を実現し、生活の安定向上と経済の健全な発展を図るための社会的な基盤である。様々な交通がある中、とりわけ鉄道や路線バス等の公共交通は、区民にとって必要性が高いものとなっている。

中野区においては、区内全域に鉄道や路線バス等による公共交通ネットワークが形成されているが、地形や道路幅員が狭いなどの様々な要因により、鉄道や路線バス等による公共交通ネットワークの構築が難しく、高齢者にとって鉄道駅やバス停留所までの距離が遠い地域が存在している。これらの地域には、平成30年度に区が実施した「区民移動実態把握に関するアンケート調査」においても交通手段の満足度が他の地域と比較して低いエリアもある。(別図参照)

このため、区は、新型コロナウイルス感染症の公共交通への影響等も鑑みながら、こうした地域における交通に関する需要を的確に把握し、公共交通ネットワークの構築の可能性を検証することを目的として、令和4年度の実証実験の実施に向けた検討を進めている。

2 経緯

平成30年度	区民移動実態把握に関するアンケート調査の実施
平成31年度	地域における公共交通に関する調査・検討の実施
令和2年度	地域における公共交通について、若宮・大和町地域でのコミュニティタクシー実証実験を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、執行を見送り (他自治体での状況調査、交通事業者へのヒアリングは継続実施)

3 検討の進め方

地域との協働で地域公共交通ネットワークを検討するため、「若宮・大和町エリア」をモデル地域に選定し、意見交換及び調整の場として、令和3年度に勉強会を複数回(5～6回程度)開催する。

この勉強会を通じて、新型コロナウイルス感染症による影響を鑑みながら、新たな公共交通サービス導入について、必要性と導入にあたっての基本的な考え方、運営主体のあり方、運行主体・運行形態のあり方などの検討と併せ、令和4年度の実証実験の実施に向けた計画案を作成する。

また、この地域を対象として交通に関するアンケート調査を実施し、地域内の需要等を把握した上で、新たな公共交通サービスの導入検討を進める。

なお、実証実験の実施に向けた計画案の作成にあたっては、令和3年5月に設置した中野区交通政策推進協議会において関係者調整を図る。

4 今後の予定

令和3年6月	町会・自治会を通じて勉強会参加者を募集、勉強会の開催
令和3年度末	実証実験計画の作成、実証実験運行に伴う手続準備
令和4年度	実証実験の実施・検証

高齢者にとって、鉄道駅やバス停留所までの距離が遠い地域
及び現在の交通手段の満足度

「高齢者にとって、鉄道駅やバス停留所までの距離が遠い地域」を駅から250mまたはバス停から250mの圏外とすると下図のとおりとなる。特に、若宮・大和町エリアは現在の交通手段の満足度が低くなっている。

